

発行所 愛知県山岳連盟  
 発行人 安藤 武典  
 編集人 中平等 新一  
 名古屋市天白区中平3-1902  
 TEL&FAX 052-802-8062

◇ 4月22日(土) 愛知県山岳連盟定時総会(県スポーツ会館) <http://www.geocities.co.jp/Athlete/1653/>

雪山技術講習会(2月25~26日大日ヶ岳)



「山の民」の一年

理事長 北村 憲彦

2016年から8月11日が「山の日」としてカレンダーに載りました。この日は「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」という趣旨の国民の祝日です。登山者にとって、山に親しむ機会というのは、山登りに出かけること、一緒に山登りをする仲間を得ること、さらにそのチャンスを広げることが出来ます。仲間と共に山の夢を語り合うこと、山で助け合うこと、登れた喜びを分かち合うことは、我々にとって何よりも幸せなひと時です。

その仲間、つまり愛知県山岳連盟の我々という定義も、昨年度から約1年かけて整備され、今年度から個人会員制度も始めています。個人会員の対象者は、職域山岳会の定年退職者、解散した山岳会の会員、スポーツクラミングの選手や関係者、および山を愛好する個人で既に愛知県山岳連盟の会員からの推薦のある方などです。

愛知県に限らず多くの都道府県でも個人会員を認める動きが進んでいます。これまでの山岳会を単位とする山岳連盟(県)によつては山岳協会と称される(の構成に変えることは、相当大きな変更です。上部団体の日本山岳協会においても組織の根幹に関わる重要事項です。

日本山岳協会が一括に全国の個人会員を登録・管理することは、現状の事務体制では難しいでしょう。従つて各県山岳連盟/協会ごとに居住地や勤務地などを根拠にした個人会員を管理するのが自然です。これについて全国で統一した議論はされていません。組織の根幹にかかわることですから、早めに関心とルールを整備する必要があります。

今年度は日本山岳協会の名称が日本山岳・スポーツクライミング協会に変更されることが決まりました。オリンピックで勢いづく、若い人がこれを機会に増えることが期待されます。しばらくはこの看板がプレゼンス向上に役立つことでしょう。元をたどれば、スポーツクライミングは登山の一形態です。これがオリンピックに取り上げられた奇跡を幸運として、これも含めた登山の人と組織の増強が急務です。それにしても必要と次々に大きな変化のあった平成28年度でした。どれも自分たちの身近な問題です。このような変化はまだ続きそうです。いろいろあっても、私たちは山の民です。山登りを通じて、タフで豊かな社会を築き、人生を大いに満喫したいものです。

平成28年度 読図講習会開催

地図を読む魅力・愉しさ体験

11月13日(日)名古屋市緑区「大高緑地公園」において、読図講習会を開催しました。

講師に河合芳尚氏を迎えて役員及び会員、一般参加者ら33人が参加しました。

講習内容は、地図アプリ/ジオグラフィカの使い方、プレートコンパスの使い方(コンパス1・2・3)などの基礎技術を学んだあと、4班に分かれてフィールド内に設置されたOLポストを回り、地図読みのスキルアップを図りました。

恵まれたフィールドの中で読図をまる一日じっくり学ぶことにより、地図を読むことの魅力・嬉しさ・愉しさなどが体験でき、とても有意義な講習会となりました。

(右瀬幹生)

読図講習会に参加して

近藤珠代

岳連に入会している友人から、地図読み講習があると聞き「どなたでも参加できます」とのことでしたので、一般参加で受講させていただきました。



た。当日は青空いっぱい快晴。こんな週末は山に行きたい気持ちと抑えての勉強。いったい標高差のない公園内で読図ってどうするの？という疑問もありましたが、まずは平らな駐車場で、プレートコンパスを使ったコンパス1・2・3の方法を学びました。テキストの三角形の図形の辺に忠実にコンパスを当てて5歩進み、また次の辺に沿って5歩進む。さらに最後の辺に当てて5歩進み、元の場所に戻って5歩進み、元々の場所に戻ってこられまして。いい加減に合わせるとずれてしまいます。

次にGPS地図ソフト「ジオグラフィカ」の使い方説明でした。地図とコンパスでは「現在地はここ」と断定は禁物。不安な時は必ず現在地を確認する事も大事な事です。私の場合、GPSについては山に入る前にいつも携帯アプリ(「ジオグラフィカ」以外のソフトですが)に行先のログを取り込み代表地点にピンを打つなどして地形の確認など準備をしていました。なので扱いはどのソフトも同じものだと思います。GPSはその日の記録を後で確認する意味でも楽しみつながります。そして歩測による距離感覚を習得しました。ここまでが基礎編です。

次の応用編では、グループ単位に分かれてオリエンテーリング地図(2500分の1)を持ってコンパスと歩測数をたよりにポストを探します。目標点に辿り着くとトレーニングを繰り返す事で、傾斜角度によって歩側数はずいぶん誤差が出ることもわかりました。もちろん基本的にはコンパスを正確に扱い正確に角度を掴むことで精度もグッと上がります。コンパスでは大体の方向と地形が整えば良いのではないかと程度に思っていたことが情けなく思いました。

こういった適当な意識が道迷いや遭難する危うさに繋がっているんだらうと思います。改めて勉強する事は大事だと思えました。基本をおぼえてコンパスを扱い、地図と照らし合わせることで確実に元の場所に戻ってくる事ができる。さらにGPSもある！

自分を含めて、山に行く仲間が安全に山登りして帰って来られるように、機会を見つけて読図の技術を伝えていければいいと思います。ぜひ地図読みを目的とした山登りにも励みたいですね。

「河合講師評」コンパスの使い方の特化したこの講習会も今年で5年目になります。最初のころと比較して、自分の中でも講習内容がしだいに充実してきたように感じます。

この講習会は、班長さんがいないと実技が成り立たないので班長さんの役割は非常に大きいと思います。今回から、参加者は岳連会員だけでなく、一般の方々にも参加していただきました。遭難対策の面から考えると、非常に良いことだと思えます。

指導員集会開く

1月17日(火)県スポーツ会館で指導員集会が行われ、次の事項が話し合われた。①平成28年度事業報告②指導員の把握③来年度事業計画  
また、6月の指導員総会に多数の出席をお願いする。

第20回「遭難を考える」講演会

岐阜県山岳遭難の実態

第20回「遭難を考える」講演会が、去る11月25日(火)午後7時20分より県スポーツ会館で開催、50名が聴講した。講師に岐阜県警航空隊(山岳警備隊)川地昌秀氏を迎え「岐阜県山岳遭難の実態」について語っていただいた。

最初に安藤会長が挨拶の後岐阜県における27年度の統計からみた遭難の実態を次のように説明された。

①登山者数(登山届出者) 岐阜県内58,072人、北アルプス51,823人

②山岳遭難者 発生件数93件 死亡13人、行方不明者3人、負傷者41人、無事救助60人、単独者遭難40人

③山系別遭難事故 北ア42人、御嶽山1人、能郷白山1人、恵那山2人、その他47人

④態様別発生状況 滑・転落23人、転倒22人、道迷い35人、発病・疲労23人、その他14人

⑤年令別遭難者 50才以上が7割を占めている。

⑥居住地別遭難者数 過去10年間で愛知県と岐阜県が1、2位を占めており、これは両県の登山者が多いことも関係している。

⑦遭難者の登山届提出状況では、提出率39・8%である。

以上の統計から遭難事故の原因として、急造パーティによる難易度の高い登山、自己技量(能力)の過大評価、そしてエスケープ計画、準備の欠如があげられる。

また、遭難者の特徴から見える課題として、体力や健康の衰えを認識していない「中高年登山者」が多いことや、登山知識や技術を習得しておらず、山の怖さを知らない登山者の増加、それに大都市圏居住登山者の遭難事故が多いことが示された。

更に県警や防災ヘリの出動や活動の実際を映像で解説があり、遭難現場の発見にはLEDライトや電話の通話の有効とのことであった。

終わりに、「登りたい山」ではなく、「登れる山」を「山へ登るといふことは遭難するかも。だからどうすればいいのか」と自から問いかけを。「誰もが登れるとは限らない。自然に対し謙虚であってほしい。登山届けは計画書として作成し、何れかの届出窓口へ提出するとも、家族等にも残す。などの指摘があり、若干の質疑応答があった終了した。

印象に残った私の登山 11

黒部川・上ノ廊下廻行

東海白樺山岳会 西山 秀夫

2009年9月22日は薬師沢小屋から1時間弱溯った辺りの中州で最後の夜となった。23日はもう太郎平を越えて折立までの下山あるのみである。太郎平から薬師沢源流は薄い雲が点々と広がる。鷲羽岳、黒部五郎岳といった方面は雲に隠れる。薬師沢の一带は黒木が主であるが岳樺の黄色、ナナカマドの赤色が点々と映えて誠に美しい。しばらくはぼーっとして去りがたい気になった。太郎平へのろい歩みを進めた。

思えば9月19日には折立にマイカーをデポ。20日は奥黒部ヒュッテで扇沢から来る2人と17時の便でやっと合流できた。

21日はいよいよ黒部川・上ノ廊下の溯行を開始した。東沢出合いまで下り、黒部川の広い河原に着いた。その流れを渡渉した。下の黒ビンガが朝日を浴びている。口元のタル沢出合いの難所では首まで浸かった。黒五跡の河原から廊下沢、スゴ沢を合わせると上の黒ビンガである。金作谷を合わせる。1692m地点に素晴らしいビークサイトが見つかつた。流木を集め、米を研いだり、ツェルトを張ったりしているともう夕闇が迫る。焚火は一発で成功した。W君の貴重な日本酒で乾杯。濡れた衣類はすべて乾いた。

22日の朝、4時半起床、6時過ぎ、早速沢を渡渉してしばらくでも深淵だ。F君がロープを付けて上流から泳いで対岸に移り、我々を確保。次々、深淵が現れて息つく暇もない。F君は積極果敢に攻めた。気迫に満ちていた。最後の深淵では懸垂か泳ぐかで判断が分かれた。F君の泳ぎに掛けた。空身でロープを付けて流れに逆らいながら対岸にF君が辿り着いた。後は勢いあるのみである。

赤牛沢が出合い、すぐに立石、岩苔小谷が出合う。W君は学生時代以来、29年ぶりの再訪に感涙を流した。この谷の奥には夢の平があり、高天原がある。立石寄岩を過ぎ再び河原になる。はるかに薬師沢小屋を見た。小屋をバックに記念撮影をした。万歳！やったぞ上ノ廊下突破だ。

建設業許可を取りたい、日本国籍を取得したい(帰化)、遺言を公正証書で作成したい、戸籍謄本や除籍謄本を代行取得して欲しい、任意成年後見の相談をしたい、会計記帳を頼みたい等々

ご相談は行政書士の西山秀夫へ

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3丁目21番21号  
(地下鉄・久屋大通駅から徒歩2分) 丸の内東桜ビル1004号室  
TEL: 090-4857-9130  
URL: http://www.nygs-office.com/

名古屋駅前の山用品専門店

# 駅前アルプス

〒450-0002  
名古屋市中村区名駅4-4-10  
名古屋クロスコートタワー 1F  
TEL 052-565-1417

寄稿  
屈辱のヒマラヤ遠征  
ロールワリンカン峰

千種アルパインクラブ  
吉川 拓矢

高校時代に山を始めた頃から、ヒマラヤに行きたいという思いは常に心にあった。漠然とした思いは、いつの間にか僕が山を続ける理由の一つになつていった。

一昨年12月、花谷泰広氏が主宰するヒマラヤキャンプという遠征の公募を知り、思い切つて応募した。迷いもあったが、悔いの残る生き方だけはしたくなかつた。

2016年9月末、未踏峰ロールワリンカンを目指し、カトマンズを出発。車と徒歩で一週間かけてBC入りした。BCは悪いガレ場の斜面に設営され、水場は濁った小さな池のみ。しかも、目標の山を眺めることすらできない。高所順応の際、アタックと同じルートで5900m付近まで登り、ついにその姿を見ることができた。写真で何度も見ただけの姿は、実に堂々たるもので、とても未踏だとは思えなかつた。高所順応を終えBCに戻ると、僕の顔がひどく浮腫んでいた。当初かSP02の値が低く、悪い予感を感じていたが、やはり僕の身体は高所に合わないらしい。

い。体調も優れず、日々弱っていくような感覚だった。こんな調子で本当にアタックできるのだろうか？  
その二日後、我々はアタックに出発した。ガレたモレーンや急な氷河を必死で歩き、二日で最終キャンプに到着。ここではお湯を飲むだけで息が上がり、夜はうなされていたらしい。  
翌朝、空は澄み渡り風も弱い。気象条件は最高だ。しかし、出発してすぐに僕の動きが止まった。足が上がりません。「終わつた。まだここなら一人でテントに戻れる。諦めが良いのが僕の取り柄。」働かない頭でそんな事を思う。「少し休みましょう」と前を歩く飯田副隊長が言ってくれた。とりあえず休んでみると、少し力が出てきた。同時に、妻を残して、会社も無理に休んで、周囲に散々助けられてここまで来たのに、こんなところで終わってしまったかという強い気持ちが出てきた。行こう、最後は自分の足で歩きたい。  
稜線までは急な雪壁で、全てフォロイーで登つた。この状態の僕がリードしても、時間がかかるだけだっただろう。僕はただキレイしながら祈ることしか出来ない。  
稜線に出ると、あとは簡単

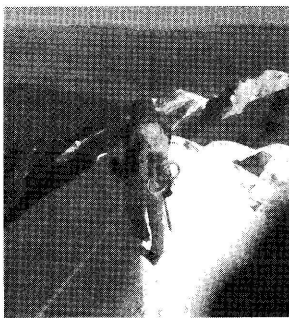
な稜線歩きだった。30分ほどで先頭のメンバーが山頂に立ち、僕もあとに続く。山頂は一畳分ほどの広さしかない。6664mの静かな頂。複雑な気分だった。残念だがこれが今の実力なのだ。初のヒマ

冬山登山報告

幸運に恵まれた  
中央アルプス全山縦走

・豊橋山岳会  
・12月30日～1月4日

年末年始の一週間くらいで行える縦走登山をしてみたいと話し合つた。雪もまずまずあること。天候が期待でき、ほぼ毎日行動できそうとのこと。入下山のしやすさもあり、中央アルプスを選んだ。ここなら天候が悪くて沈殿しても、コースを短縮して下れる。避難小屋が利用しやすいのもメリットである。稜線に風が吹



ラヤで得たものは僅かばかりの経験と、大きな屈辱だった。しかしこれで良かったと思う。初心に返つてもっと日本に登りこみ、可能ならまた大きな頂に挑んでみたい。

かれなくてもいいように避難小屋を利用しながら、できる限り長く歩けるように計画した。週間天気予想も30日から風が弱まると言っている。天気も3日までは晴れマークが付いていた。メンバーは、リーダーのKとS、I、Nの4名である。

スタートは将棋頭山からだった。30日は暗いうちから小黒川キャンプ場から歩き始める。林道を進むとすぐに雪が出てきたが、稜線が近づいても潜るのは膝くらいまで、ずっと深くなることもなく輪かん無しで午後3時くらいに西駒山荘に着くことができた。暗くなる前に着けるかと心配していたが、数日前の雨で雪が硬くなつていたのでよかった。将棋頭山や山荘付近は、風が強くて翌日の行動が心配されたが、31日は稜線歩きには絶好の日となった。快晴の中を羽が生えたような気分であつた。剣岳山頂からは30mロープ1

うなぎ錦三丁目 い ば しょう  
**いばしょう**  
〒460-0003 名古屋市中央区錦三丁目13番22号  
TEL <052> 951-1166 番  
営業時間 午前 11:00～午後 2:30  
午後 4:00～午後 8:00  
定休日 日曜日・第二・第三月曜日

**Renopoint**  
<http://www.renopoint.jp>  
Original Wear & Goods  
オリジナルウェア・CMウェア (広告掲載)  
カジュアルユニフォーム&グッズ  
デザイン・企画・制作  
お気軽にお問合せ下さい。  
特許出願 GLASS PERCH(グラスパーチ)  
株式会社リノポイント 〒491-0835 愛知県一宮市あずら1-5-7  
TEL:0586-58-5021 FAX:0586-58-5022 E-mail: ito@renopoint.jp



本に4人でつながり、鎖や杭、岩にランニンググレイをかけながらコンテで南稜を通過する。極楽平からは小さな上り下りを繰り返して、快適な松尾避難小屋に入った。松尾避難小屋では、豊橋山岳会の空木岳からのパーティーと合流し、ワインで乾杯した。

1日からは毎朝、風があったり稜線にガスが湧いたりしたが、昼近くになると回復する日が続いた。ルートが分かりにくい空木岳の登り、仙漕嶺の通過でも天候が味方してくれた。

宝剣岳南稜、空木岳の登り、仙漕嶺の通過以外はロープ無しで通過して行ったが、夏道は雪が半透明に硬く凍り付き、稜線は細い。転べば谷底まで滑り落ちてしまうようなところが多く、緊張した。そして、4日目の越百山頂、みんな胸を撫で降ろし握手を交わした。(滑落なしにたどり着けたことは幸運かも)

「もう樹林に入れる」

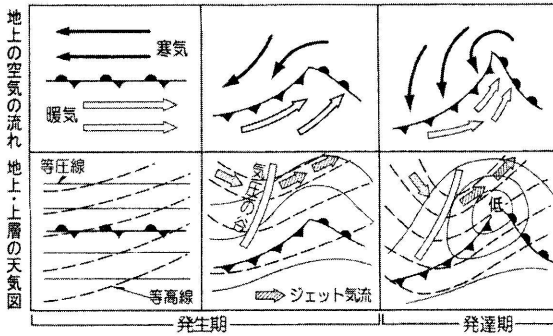
後半の2泊は奥念丈の先と摺古木休憩舎に泊まり、樹林と笹の稜線と長い林道歩きで大平を経て飯田に下った。車に戻るために乗った飯田線の車窓からは、強い西風による上昇気流が作った雲が上空まで広がり、歩き通した稜線は見えなかった。(記・中山秀樹)

### よく解る気象の話 ④

#### 低気圧の発生と消滅

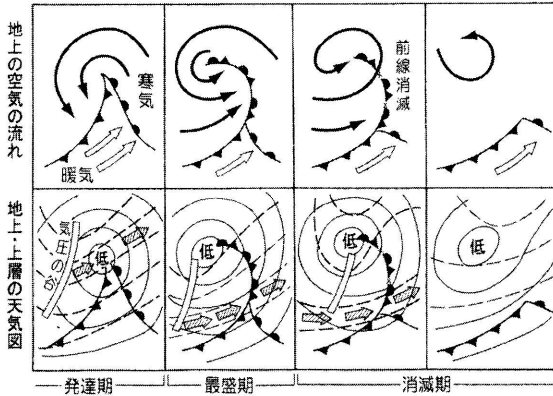
低気圧の発生から消滅までについて説明します。まず、北の方に寒気団の流れがあり、一方、南の

方には暖気団の流れがあるような場合、その境目には前線が発生します。そして、上空に気圧の谷が接近してくると前線が波打つようになり、その頂点に低気圧が発生します。さらに上層の気圧の谷が深まり、寒気が入り込むと低気圧は発達します。



低気圧の東進に伴って、寒冷前線は温暖前線に追いついて、前線は閉塞をはじめます。このときが、低気圧の最盛期にあたります。

低気圧は上層の風の流にそって進みますので、上層の気圧の谷が深まれば深まるほど発達することになり、その進路を東から北東にとるようになります。図の上層の天気図でもわかるように、上空を流れるジェット気流の北側に達すると閉塞前線は消滅し、低気圧も弱まって次第に消滅するようになります。



東シナ海に発生する低気圧などは、大陸からの寒気が流れ込みやすく、また、南からは湿った暖気が流れ込むために春先からの低気圧はよく発達して、太平洋側の地方に大雪を降らせることがしばしばあります。このような低気圧は、関東の東海上に去ったあと、北東に進んで更に発達します。そして、千島列島やアリューシャン方面では台風並の中心気圧となることもよくあります。つまり低気圧が北東に進んで高緯度に達することは、低気圧の後面に更に寒気が流れ込む結果となるためです。ちなみに真東に進む低気圧はあまり発達しません。

低気圧の一生

ビギナーから安心して選べる三河地区  
エキスパートまで

のプロショップ  
JR刈谷駅前

**穂高**

〒448 刈谷市桜町1-13  
TEL.0566(23)8611  
定休日/火曜日  
営業時間/10:00~20:00

登山用品豊富!

CLIMBING PARK 東三河初のクライミング施設

**ROCK**

<http://climbing-park.com> ☎0532-26-3737

MONTANA 住所: 愛知県豊橋市関屋町138番地

**モンタニア**

住所 愛知県豊橋市萱町5番地 ☎0532-55-0125 <http://www.montania.jp>

### 沖允人さん(中京山岳会)が、日本山岳グランプリ受賞

日本山岳会の創立百十周年記念で、2015年に出版された「インド・ヒマラヤ」の編さんに尽力された沖允人さんが、登山や山岳文化の研究などで優れた人や団体をたたえる日本山岳協会の第六回日本山岳グランプリを受賞されました。

インド国内やパキスタン国境などにあるヒマラヤの高峰を本格的に紹介する、日本で初めての本として編集されたものです。

### 遭難事故報告

▼1月1日10時30分、名古屋山岳会5人パーティの内田雅人さん(35)が、南アルプス農鳥岳から豊島小屋の稜線上で50m滑落、仲間が救助し北岳山荘へ運ぶが、翌日足が腫れ、自力下山は困難と判断し、山梨県警のヘリで病院へ搬送された。

▼1月2日7時50分頃、岡崎山岳会3人パーティの山本哲也さん(46)が、南アルプス赤石山脈小赤石岳から下降中に大聖寺平側に200m滑落、左右肋骨1本にヒビ、各部を打撲した。直ちに平坦な場所へ移動させ静岡県警に救助を要請、ヘリで静岡日赤病院へ搬送された。

### 常任理事会

#### ▼1月10日(火) 名古屋大会議室

〔出席者〕安藤会長、伊藤副会長、北村理事、岩瀬副理事長、相山、丹羽、星、岩狭、木田、高木、有富各常任理事、中平等顧問、谷澤、杉本(憲)

#### I 報告事項

1. 第2回Jrクライミング記録会(12/10ロックドランカー) 岩狭
2. 冬山遭難対策会議及び遭難事故(12/20県スポ)有富
3. 第7回高校クライミング選手権(12/23、24加須市)
4. その他

#### II 審議・お知らせ事項

1. 高体連・第2回登山部委員会(1/17県教育会館)
2. 指導員集会(1/17県スポ、1/31豊橋) 木田
3. 第3回登山勉強会(2/14豊橋、2/21県スポ)
4. 雪山技術講習会(2/25、26大日ヶ岳) 木田
5. 岳連親睦雪山ハイイク・スキー大会(2/18、19ウイングヒルズ白鳥)

#### ▼2月7日(火) OMCビル

〔出席者〕安藤会長、北村理事、岩瀬副理事長、星、高木、丹羽、相山、関谷各常任理事、中平等顧問、谷澤

#### I 報告事項

1. 指導委員会・総合登山技術検定(1/15南山)
2. 高体連・第2回登山部委員会(1/17県教育会館)
3. 指導員集会(1/17県スポ、1/31豊橋) 高木
4. その他

#### II 審議・お知らせ事項

1. ジュニア普及情報交換会(2/11東京、安藤)
2. 第3回登山勉強会(2/14県スポ、2/21豊橋)

### 凍死者が裸で発見される現象

矛盾脱衣(むじゅんだつゐ)とは、凍死者が裸の状態で見られること。または寒い環境の中で脱衣してしまう異常行動のこと。

恒温動物である人間は、あまりに寒い環境下に長時間い

ると、体温の熱量は外気に奪われ、その結果体温が下がる。体温が一定以下になると、体は生命の維持のためにそれ以上の体温低下を阻止しようとして、熱生産性を高め、皮膚血管収縮によって熱放散を抑制することにより、体内から温めようとする働きが強まる。このとき体内の温度と外部の気温(体感温度)

との間で温度差が生じると、極寒の環境下にもかかわらず、まるで暑い場所にいるかのような錯覚に陥り、衣服を脱いでしまうといわれる。日本では、過去に服を身につけない状態で凍死した事例が37件発見されており、「矛盾脱衣」が原因だと考えられている。

◆指導員総会  
6月27日(火) 19時  
※指導員の方は、ぜひ出席してください。

3. 岳連親睦雪山ハイイク・スキー大会(2/18、19ウイングヒルズ白鳥) 関谷
4. 雪山技術講習会(2/25、26大日ヶ岳) 高木
5. 平成28年度競技部プロック別研修会(2/25、26静岡)
6. 愛知山岳マラソン大会(3/4猿投山) 岩瀬
7. 国体県内予選(4/15、16予定)岐阜県でリード、愛知県でボルダリングの合同(案)
8. 来年度の行事日程
9. 役員改選に伴う常任理事の候補について
10. 総会資料作成の提出期限
11. 平成29年度定時総会は4月22日とする
12. その他

月日	内容
4. 4	常任理事会 (OMCビル)
4. 17	国体予選会 (岡崎)
4. 18	春山遭難対策会議 (県スポーツ会館)
4. 21	高体連・登山部委員会 (県教育会館)
5. 9	常任理事会 (OMCビル)
5. 13	第38回自然観察会
5. 16	自然保護委員会 (県スポーツ会館)
5. 20	県民登山教室①猿投山
5. 23	第1回登山勉強会 (県スポーツ会館)
5. 30	〃 (豊橋地区)

平成29年度愛知岳連定時総会  
・4月22日(土)午後1時30分・県スポーツ会館

### ◆4・5月スケジュール

観光庁長官登録旅行業第490号/(社)日本旅行業協会正会員

## ALPINE ツアー サービス

海外トレッキング/世界の山旅 専門旅行会社  
まずは「ツアーカタログ」ご請求下さい  
個人&グループでのご利用お待ち申し上げます  
**名古屋営業所 TEL: 052-581-3211**  
〒450-0002 名古屋市中村区名駅3-23-2 第3千福ビル3階  
FAX: 052-561-8338 E-mail: nagoya@alpine-tour.com  
ホームページ <http://www.alpine-tour.com>